

発行 愛媛県糖尿病協会 代表者 森田 哲司
〒791-0295 東温市志津川
愛媛大学大学院医学系研究科糖尿病内科内

日本糖尿病協会では、全国各地で「糖尿病合併症の重症化予防」を大きなテーマに取り組んでいます。愛媛県でも糖尿病患者さんとともに医療者もご家族も一緒に協力して、合併症の進展防止や改善のために頑張っていく必要があります。今月と来月にわたって、松山赤十字病院の近藤しおり先生のご協力を得て、糖尿病性腎症予防に関する取り組みをご紹介します。

「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」の紹介

1. 医療費と国民皆保険

2015年度の国民医療費は41.5兆円、前年度比3.8%の伸びとなり、1人当たりの医療費は75歳未満で平均22万円、75歳以上で平均94.8万円となりました。今後の急速な後期高齢者の増加により、さらに医療費が増大することが予想され、国民皆保険制度の維持のためには、生活習慣病対策と医療費適正化が求められています。

2. 日本健康会議 (<http://kenkokaigi.jp/>)

2015年、日本商工会議所などの経済界、日本医師会などの医療界、自治体が連携し、日本健康会議が発足しました。その目的は、国民皆保険制度の維持のために必要な、先進的な予防・健康づくりの取り組みを全国的に広げるためです。

3. 糖尿病性腎症対策が取り上げられた背景

わが国の慢性透析患者数は2014年に32万人を超え、透析医療費は年間1.5兆円といわれています。新規導入患者は年間3万8千人、うち糖尿病性腎症が43.5%で原因疾患の第一位を占め、腎硬化症(14.2%)と合わせると、生活習慣病関連腎疾患が半数以上を占めています。

4. 糖尿病性腎症の特徴

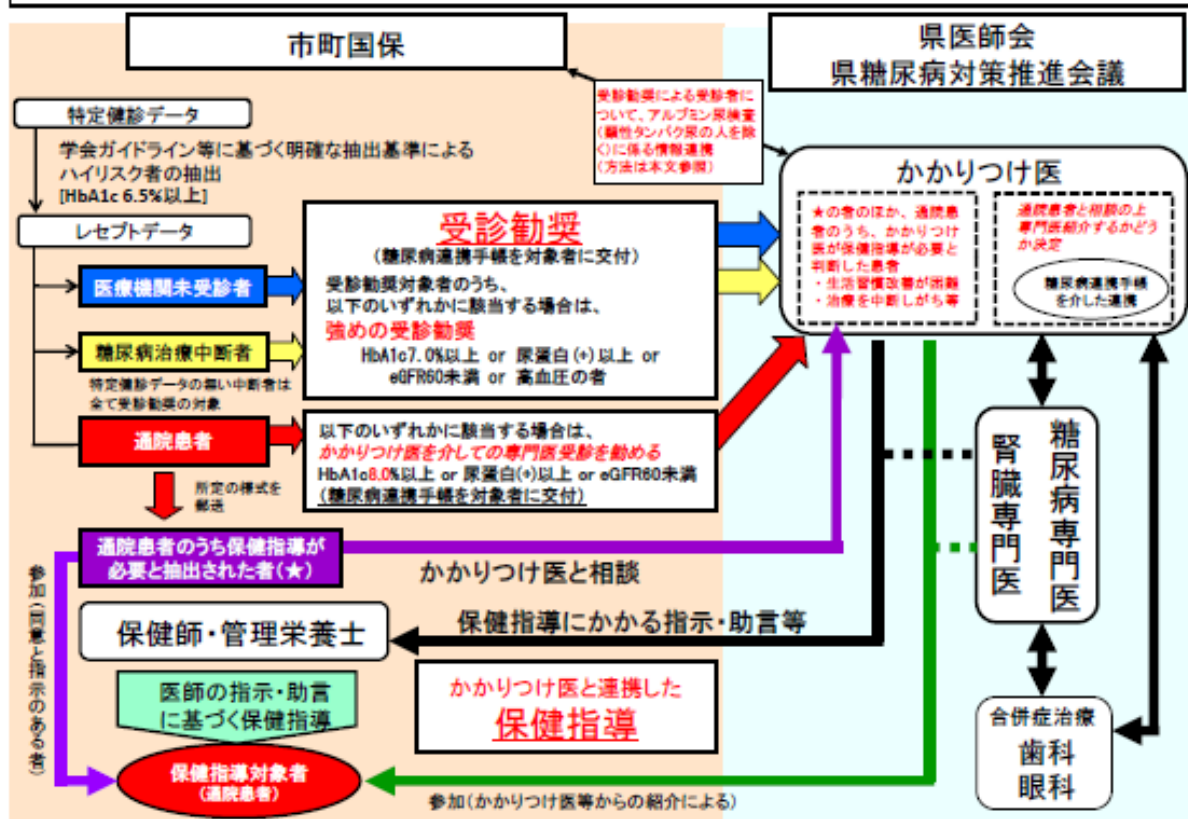
糖尿病性腎症は、血糖値や血圧のコントロール、肥満の是正、減塩や禁煙などの生活習慣改善により進行を遅らせることができることがわかっています。一方で、血糖が高いと言われているものの、医療機関を受診していない人や、治療を中断してしまっている人が、30～50歳代の現役世代に多いことがわかっています。その理由は、糖尿病性腎症がいよいよ進行して透析導入間近にならないと症状が出にくく、体の事より、仕事などを優先してしまうためと考えられています。

5. 糖尿病性腎症重症化予防プログラム

そこで腎症進行が懸念される未受診者や治療中断者を、特定健診データや、レセプト(患者が受けた保険診療について、医療機関が保険者(市町村や健康保険組合等)に請求する医療報酬の明細書)で把握し、受診を勧めるという取り組みが、自治体や保険者を中心に、全国的に始まりました。保健指導や医療機関を受診することで、腎症進行の予防を図るのが目標です。今月愛媛県でもこの取り組みが始まりました。愛媛県のホームページでご覧になれます。

<https://www.pref.ehime.jp/h20180/kokuho/tounyoubyou.html>

愛媛県糖尿病性腎症重症化予防プログラム(国保版)概要



事務局からのお知らせとお願い

★平成 29 年度の会費納入ありがとうございました。

お知り合いの方で、年会費未納の方をご存知でしたら、会費納入についてお声をかけていただくと幸いです。よろしくお願いいたします。

★平成 29 年度愛媛県糖尿病協会総会を 6 月 25 日（日）に愛媛県医師会館で予定しております。別紙の『総会および講演会のご案内』をご確認下さい。同封のハガキに必要事項をご記入のうえ、6 月 16 日（金）までに返送をよろしくお願いいたします。欠席の場合も委任状をご記入のうえ必ず返送下さい。皆様のご参加を楽しみにお待ちしております。ご質問やご希望、ご意見など何かございましたら事務局までご連絡下さい。

★住所変更や所属変更等、個人情報に変更があった場合は必ず事務局までご連絡ください。（郵便物はメール便で送付させていただいているため、転居されると転送されず届かなくなります）

連絡先：FAX：089-960-5400 またはメール：aitoukyou@gmail.com

また、事務局は常駐ではないため返答にお時間を頂くことをご了承くださいますようお願いいたします。